

# 平成30年度予算の概要

## 各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,907億1,000万円	0.1%
国民健康保険事業特別会計	502億1,900万円	△16.1%
後期高齢者医療事業特別会計	100億4,400万円	4.3%
介護保険事業特別会計	380億1,700万円	5.7%
駐車場事業特別会計	6億9,520万円	10.8%
合計	2,896億8,520万円	△2.3%

## 区民一人当たりの予算額(一般会計)

災害対策や地域活動、文化振興などに	36,973円
清掃事業や環境対策に	10,683円
高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	177,590円
中小企業に対する融資など産業経済に	9,118円
道路・公園整備やまちづくりに	33,099円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	43,150円
常勤職員の給料等に	58,231円
特別区債の償還などに	6,510円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	36,881円
合計	412,235円

人口は460,423人(平成30年1月1日現在)から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

2月16日の本会議において、平成30年度各会計予算案5件を審査するために、39名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

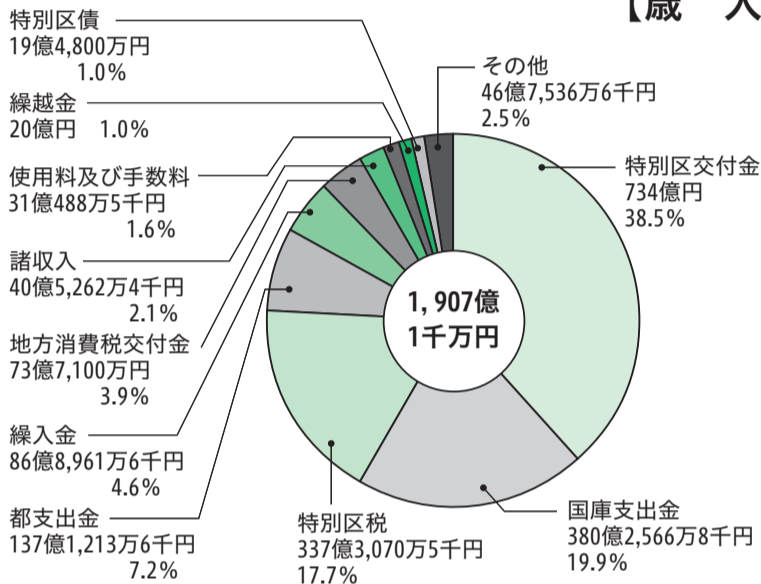
予算案は、3月2日の総括質疑の後、各分科会で審査を行い、その後、予算審査特別委員会において各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定し、3月28日の本会議において可決されました。

## 予算審査特別委員会

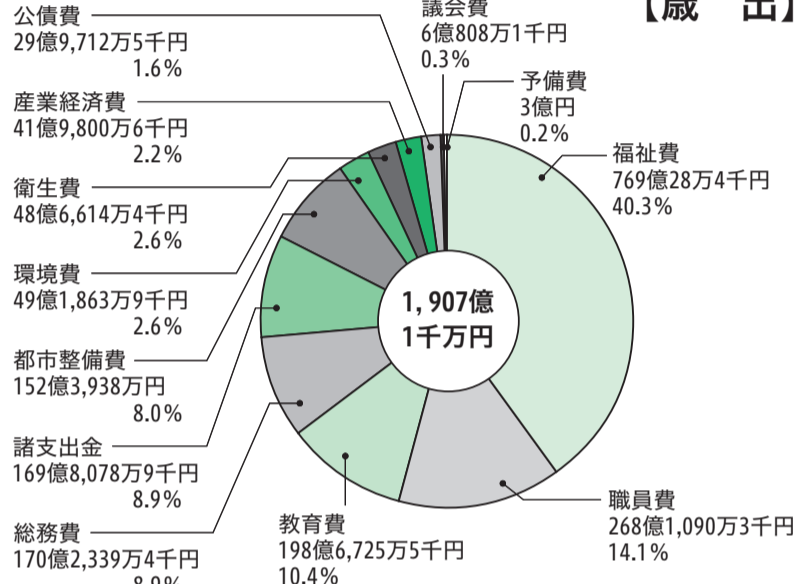
## 平成30年度予算を審査

## 一般会計

### 【歳入】



### 【歳出】



※その他は分担金及び負担金など。

※比率は小数第2位を四捨五入して小数第1位まで表示しているため、合計が100にならない場合があります。

## 平成30年度予算に対する各会派の意見

この面から7面まで、平成30年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

### 自由民主党議員団

葛飾区の良さを最大限に活かし  
区民が輝く積極的な事業展開を

平成30年度予算は、「子育て環境の充実」「健康長寿のまちづくり」「観光・産業の活性化」「安全・安心なまちづくり」「快適で利便性の高いまちづくり」にかかる予算が、効果的・効率的に計上されたものと評価する。

議会費は、友好都市交流経費について議員連盟の友好都市訪問等の公費一部負担については訪問先あるいは来訪時の受け入れなど公的な活動が多く、応分の公的負担は適切である。

総務費は、医療環境推進経費について、医療環境推進担当が解消され各部の所管となったが、引き続き医療環境の充実に取り組みしてほしい。日赤産院移転に伴う用地を区独自で取得しているが、今後の区の事業用地取得の方法について検討してほしい。外国人学校児童生徒保護者負担軽減経費については、手続上の代理申請を是正されたい。地域コミュニティ施設壁紙張替等修繕費については、各公共施設のカラオケの修繕・入れ替えを要望する。納税義務者の増により特別区税が増えているが、ふるさと納税制度による歳入減を注視し対応策を求める。

福祉費・衛生費は、基幹相談センターの機能を持つ相談支援体制を整備し、多様なニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援の実施を望む。地域生活支援型入所施設「プランしようぶ」では入居者の障害特性に合わせた適切なサービス提供を要望する。介護サービス事業者との協働による「介護の仕事相談会」により新たな人材の掘り起こしを要望する。ネウボラ事業経費については、児童相談所の設置と人材育成を視野に入れ、子育て支援拠点

が充実した施設になるよう要望する。精神保健の領域では、精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築に未定要素が多いため、早期の検討と具体

### 葛飾区議会公明党

積極的な予算編成で  
区民第一の区政運営を評価

総務費の情報公開制度では、請求内容を精査した上で可能な限りの公開を求めます。区職員の適正な労働時間の確保に努めるように要望します。スタンドパイプの設置を2次避難所まで拡大することを求めます。広報かつしか

的 な 取 り 組 み を 要 望 す る 。 自 動 体 外 式 除 細 動 器 等 購 入 費 で は A E D の 空 白 地 帯 を 把 握 し、公 衆 浴 場 等、公 共 施 設 以 外 に も 設 置 す る こ と を 望 む 。 動 物 適 正 飼 養 推 進 経 費 で は、ボ ラン テ ィ ア 団 体 を 早 急 に 立 ち 上 げ る こ と を 強 く 求 め る 。 都 市 整 備 費 は、今 後 の 高 齢 社 会 を 考 え、コ ミ ュ ニ テ ィ バ ス の 運 行 の 検 討 を 要 望 す る 。 新 金 線 の 実 現 に 向 け て、さ ら な る 推 進 を 要 望 す る 。 千 代 田 線 を 金 町 ま で 延 伸 す る 検 討、J R だ け で な く 京 成 線 の ホ ー ム ド ア 設 置 の 検 討 を 要 望 す る 。 森 永 乳 業 が 閉 鎖・移 転 す る 場 合、跡 地 の 効 果 的 な 活 用 を 考 え て い た だ き た い 。 柴 又 の 重 要 文 化 的 景 観 を 生 か し 地 域 の 声 を 反 映 さ せ、よ り 一 層 柴 又 地 域 を 盛り 上 げ る 取 り 組 み を 望 む 。 金 町 駅 北 口 理 科 大 学 通 り の 歩 行 空 間 の 確 保 を 要 望 す る 。 新 小 岩 駅 東 北 広 場 の 活 用 が 十 分 で な い た め、よ り 一 層 の 整 備・活 用 の 検 討 を 求 め る 。 老 朽 化 し た 静 観 亭 の 抜 本 的 改 修・バ リ ア フ リー 化 を 要 望 す る 。 教 育 費 の 小 学 校 費 で は、A L T の 採 用 に 当 た っ て、教 員 と し て の 資 質 や 指 導 力 を 確 認 し て の 任 用 と 指 導 力 の 向 上 に 向 け た 実 践 的 な 研 修 を 強 く 望 む 。 イ ン グ リ ュ シ ュ・キ ャ ン プ は 効 果 が 大 き く 期 待 さ れ る の で、参 加 枠 の 拡 大 を 望 む 。 中 学 校 費 に つ い て は、葛 飾 学 力 伸 び 伸 び プ ラ ン の 効 果 で 学 力 が 緩 や か に 向 上 し て い る こ と を 評 価 す る 。 学 力・体 力 と も に 向 上 し、23 区・27 市 町 村 東 京 都 駅 伝 競 走 で の 総 合 6 位 は 称 賛 し た い 。 教 員 の 校 務 分 掌 や 部 活 指 導 の 見 直 し 等 を 通 じ て、よ り 充 実 し た 学 校 教 育 に な る よ う 期 待 す る 。

は、年代層に合わせた情報発信と紙面構成の工夫を、「わたしの便利帳」は保存と活用の工夫を望みます。防災マップの作成に当たり、子育て世代の意見を取り入れるよう要望します。文化会館の改修は、視覚障害者と高齢者に配慮した施設整備を求めます。オリンピック・パラリンピック関連ではラジオ体操会場へののぼり旗作成や水上バスによる選手の区施設への送迎運行の実現を望みます。産業経済の事業承継支援では、支援機関との連携や相談体制の充実を求めます。生産緑地制度の改正に伴い、農業経営の持続可能な施策を求めます。福祉費は、障害者のための(仮称)コミュニケーション支援条例の制定の早期実現を望みます。福祉サービス苦情調整や第三者評価事業により得られたものを職員で共有し、さらなる行政サービスの向上を求めます。プラチナ・フィットネス事業は参加者増に向け実施施設の要件緩和を図り事業の充実を求めます。介護予防事業に資するためのツール(健康麻雀など)は区民が利用する身近な施設に常設することを求めます。衛生費は、医療コーディネイト事業の充実を図り地域包括ケアシステムの全区的展開を早期に構築することを望みます。自殺対策のためのゲートキーパー養成は、区民生活に根付いた事業者や団体等への普及を求めます。環境衛生普及・啓発経費について「薬剤購入費用助成制度」の導入を求めます。環境費では、緑と花のまちづくり事業で活動団体のさらなる活性化を図るために支援メニューの拡大を望みます。ペットボタルによる環境学習は関係各課の連携を密にして、積極的な取り組みを望みます。使用済天ぷら油の拠点回収事業はさらなる周知と拡充を要望します。都市整備費ではJR新小岩駅に続き、利用者が増加するJR金町駅・亀有駅などにホームドア設置の早期実現を要望します。立石駅・新小岩駅・金町駅周辺などの再開発は丁寧な合意形成を重ねながら着実な推進を望みます。道路の空洞調査事業では被災時の避難所

は、年代層に合わせた情報発信と紙面構成の工夫を、「わたしの便利帳」は保存と活用の工夫を望みます。防災マップの作成に当たり、子育て世代の意見を取り入れるよう要望します。文化会館の改修は、視覚障害者と高齢者に配慮した施設整備を求めます。オリンピック・パラリンピック関連ではラジオ体操会場へののぼり旗作成や水上バスによる選手の区施設への送迎運行の実現を望みます。産業経済の事業承継支援では、支援機関との連携や相談体制の充実を求めます。生産緑地制度の改正に伴い、農業経営の持続可能な施策を求めます。福祉費は、障害者のための(仮称)コミュニケーション支援条例の制定の早期実現を望みます。福祉サービス苦情調整や第三者評価事業により得られたものを職員で共有し、さらなる行政サービスの向上を求めます。プラチナ・フィットネス事業は参加者増に向け実施施設の要件緩和を図り事業の充実を求めます。介護予防事業に資するためのツール(健康麻雀など)は区民が利用する身近な施設に常設することを求めます。衛生費は、医療コーディネイト事業の充実を図り地域包括ケアシステムの全区的展開を早期に構築することを望みます。自殺対策のためのゲートキーパー養成は、区民生活に根付いた事業者や団体等への普及を求めます。環境衛生普及・啓発経費について「薬剤購入費用助成制度」の導入を求めます。環境費では、緑と花のまちづくり事業で活動団体のさらなる活性化を図るために支援メニューの拡大を望みます。ペットボタルによる環境学習は関係各課の連携を密にして、積極的な取り組みを望みます。使用済天ぷら油の拠点回収事業はさらなる周知と拡充を要望します。都市整備費ではJR新小岩駅に続き、利用者が増加するJR金町駅・亀有駅などにホームドア設置の早期実現を要望します。立石駅・新小岩駅・金町駅周辺などの再開発は丁寧な合意形成を重ねながら着実な推進を望みます。道路の空洞調査事業では被災時の避難所

